

2号警備のためのAIシステム

KB KB-eye ケイビーアイ



： WHAT IS AI警備とは

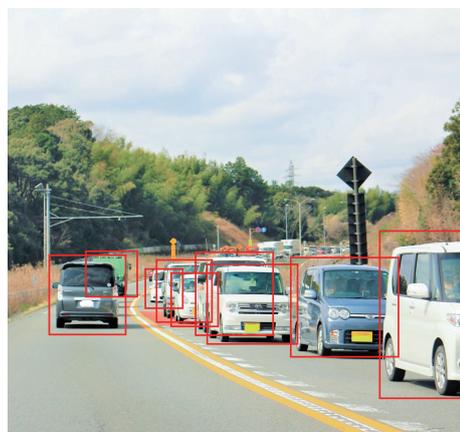
人とAIが互いに補い合う、新しい警備のカタチ

昨今、あらゆる業種・業態において人材不足が叫ばれており、それは警備業界についても例外ではありません。警備業界における人材不足は、業務過多になりやすく、若者の警備業に対する更なる敬遠傾向に拍車をかけます。

現状では、高齢や経験不足の警備員も多く、事故増加などの可能性を抱えています。今後、警備業界に入りたいという若者を増加させていかなければ、私たちの業界の将来は先細ってしまいます。

そこで、警備という仕事をより誇り高い業種に引き上げ、さらに発展させていくということを目的として、このAI搭載2号警備システム「KB-eye（ケイビーアイ）」は生まれました。

： ABOUT KB-eyeについて



さまざまなシーンに対応した、AI警備システムを提供

KB-eyeは、AIによる映像解析などの技術を活用した警備システムを開発しています。AIが人間に代わって現場状況を判断・誘導することにより、少ない人数で安全・円滑な警備を実現することができるようになります。

より適切な誘導判断を行うため、当社独自の2号警備特化型AIを開発しました。あらゆる環境でご活用いただくことができるシステムです。

現場には、KB-eyeシステムと共に、システムの管理・イレギュラー対応などを行うオペレーター（警備員）を配置。人とAIが互いに補い合う「ハイブリッド警備」というスタイルで、現場の安全を守ることができます。

KB-eyeシステムを使えば、これまでにない、まったく新しい2号警備のカタチを実現していただくことが可能です。

： MERIT 導入のメリット

KB-eyeの活用で、現場に新たな価値を

KB-eyeは、雑踏警備や交通誘導警備、駐車場警備など、2号警備のあらゆる場面で使用することができるシステムを開発しています。安全性や警備の質の向上、人材不足の解消から警備員の精神的負担の削減など、多くの効果を発揮します。2号警備の業務改革のために、KB-eyeを導入しましょう。



人材不足の解消

配置人員を抑え、限られた人数でも交通誘導・雑踏警備等の警備業務を行うことが可能に。また、「AIを活用して安全を守る」というテーマで、新たな人材を確保していただくことにもつながります。



現場の事故防止

数多く発生している現場事故、受傷事故——。AIを活用することにより、現場の安全性が向上し、事故が起こるリスクを限りなく減らすことができます。より安心・安全な現場を実現することが可能です。



生産性の向上

これまでのマンパワーの警備では実現できなかった効率性や、システムを導入することにより取得できるデータを活用することで、これまでの警備の枠を超えた新たな価値を生み出すことができます。

2号警備の再定義

AI crunches 3K, and creates the value of KEIBI.

KB-eye株式会社



<https://kb-eye.jp/>

